

# WUB Tokyo NEWS

## No. 4 2004.12.1

発行/WUB東京 広報委員会

発行責任者/長嶺 爲泰

WUB東京 事務局

〒105-0004 東京都港区新橋1-13-12 堤ビル3F

「沖縄ツーリスト東京支店 大城友宏」 気付

電話(メッセージ)またはFAX 03-3487-6115

URL <http://wubtokyo.com>

E-mail [info@wubtokyo.com](mailto:info@wubtokyo.com)



### INDEX — アルゼンチン大会特集 —

会長就任とアルゼンチン大会について—WUB東京会長 長嶺 爲泰

「オキナワ型産業教育を強調」

—経営協・WUB東京 合同経済講演会—金城 賢

WUB東京フラッシュバック(04年1月~9月)

WUB活動を通じての人的交流促進とビジネス創出の事例紹介

第8回WUB世界大会 アルゼンチン2004・特集

ポリビア移住50周年式典とアルゼンチン大会の概要—小畑 耕行

私とアルゼンチンの出会い—知花 弘和

WUB会員になって初めての世界大会参加!!—下里 英俊

古い縁に活力を与え、新たな出会いを創造—平良 智広

アルゼンチン大会フラッシュバック

情報発信掲示板—新入会員紹介/編集後記

## 会長就任とアルゼンチン大会について

WUB東京会長 長嶺 爲泰

会員の皆様にはお元気でご活躍の事と存じます。私、去る4月の総会にて選考委員皆様からのご推薦により会長を務める事になりました。微力ながらも役員を始め会員の皆様様の支えを頂き「チムグクルー」をモットーに精一杯頑張る所存であります。WUB東京も発足6年目となり安定期に入りましたので、皆様と共に内部の基礎固めを中心に会員相互の情報交換や信頼関係を密に図りたいと願っております。簡単ですが私の思いと感じている事を述べさせていただきます。

WUB東京ホームページに掲載されている様に、WUBとは懇親だけを目的に集う組織とは少々異なり、根底に“ビジネス”と言う目標があります。

会員一人一人の皆さんはWUB組織へ参加する事により、親睦は基より何らかの形にて個々の発展を願っている事と思います。WUB東京だけにとどまらず、世界に散らばる多種多様なメンバーやウチナンチュと交流する事により、日頃個人的には得られない人脈や情報等、ビジネスチャンスと接する事から新しい可能性の芽が生まれます。たまにWUBに参加すれば当たり前で商売ができると安易に思われる方がいるかも知れませんが、それは違います。個々人の利益を目標とする場合は本人がそれ相応の努力とリスクを覚悟で行う事は世の習わしであり、現実だと思えます。又、私の体験から申し上げますと、お互い同士にて事業を興す場合も、損得が伴う事であれば、事前にお互いの信頼を深め、目標が一致しなければ実を結ぶ可能性は少ないかと考えられます。会員の方々は既にWUB関係の集いに参加され、今までの既存組織との相違を体験された事と思えます。

報告としまして、8月にWUB東京有志のメンバーと共に、私が青春を過ごした南米ポリビア国、サンタクルス州、コロニア・オキナワ移住地での“移住50周年記念式典”と“第8回WUB世界大会・アルゼンチン”に参加しました。30時間かけて



ポリビア移住50周年記念式典にて(左端がメサ大統領)



4月の総会の模様

である移住地にて現地並びに世界各国から参加した旧知の方々と何十年ぶりに会い入植当時の生活や懐かしい思い出を語り、お互いの健闘を祈り合いました。又、初期のジャングルからは想像もつかない程の広大な麦や大豆の機械農場や牧場、立派な住宅等、

50年の歴史を振り返り、移住地にて頑張ってきた皆様に対し敬意の思いで一杯でした。

又、“第8回WUB世界大会・アルゼンチン”では、回を重ねるごとにメンバーやその家族、旧知の方々が増え、お互い打ち解けた雰囲気の中で仲間同士の会話が会場のあちらこちらにて見受けられました。

今回はWUB大会にジョイントして各国の沖縄県人会長会議や青年会議が開催され、会場ではウチナー口、日本語、スペイン語、ポルトガル語、英語等で語り合われて、まさしくウチナンチュの国際会議でした。南米には戦前から移住し



第8回 WUB世界大会アルゼンチン2004

た方々やその家族の方々が多く、沖縄本島や日本国内で失われつつある“チムグクルー”心からの語りや歓迎、“イチャリバチョウデー”相互協力、隣人愛等が多々残っていて、物・お金を中心に動く日本社会から参加した我々は心が和やかになり、エネルギーを得ることができました。反面、東京は日本の中心に位置し、政治、経済、情報の主な発信地であるが故に世界のWUBメンバーから大いに注目されています。これからも世界のウチナンチュやWUBメンバーとの交流を深めつつ、WUB東京並びにメンバー間の尚一層の結束、相互発展、向上の為に頑張らなければとの思いで帰国の途につきました。

長嶺爲泰・オスカル

「オキナワ型産業育を強調」—— 経営協・WUB東京 合同経済講演会

金城 駿

WUB東京と関東沖縄経営者協会は7月14日、東京・霞ヶ関ビルの東海大学校友会館で合同で経済講演会を開催した。講師の喜友名朝春氏（財団法人沖縄県産業振興公社専務理事、元沖縄県商工労働部参事監）は「沖縄県に於ける最近の産業振興ならびにその課題」の演題で同公社の視点から沖縄の産業の現状やこれからの方向性、また、公社の事業と今後の展望などについて約1時間にわたって話した。沖縄県は、いま「沖縄振興計画」（新振計）を推進している。民間主導の自立的経済の構築を目指したもので、2011年までの10年計画である。自立的経済発展を目指す沖縄の産業振興に取り組む沖縄産業振興公社の姿勢を聞くことができた。喜友名氏は、ま



話に熱心に聞き入る出席者の皆さん

ず沖縄ブームの追い風のなかで、沖縄の経済は観光、地場産業の泡盛や健康食品などが好調を維持し緩やかな回復基調がみられ



講演する喜友名講師

るが、反面、中小企業は厳しい状況にあると説明したのち、産業振興の基本的課題は、経営力の向上と研究・技術開発力の強化、製造業の市場競争力の強化などを図ることによって「沖縄ブランド」の確立に集約される、と述べる。その実現に向けた課題は、①研究開発体制の整備 ②商品開発力の向上 ③マーケティング機能・販路開拓力の充実 ④効率的な資金調達と人材の確保と育成 等をあげた。また、沖縄の製造業の再構築には「オキナワ型産業の戦略的展開」を強調し、その方向性は見えてきた。その代表的な産業として健康バイオ、泡盛、観光・土産品、環境、海洋深層水、工芸など、沖縄地場産業をあげる。喜友名氏は講演の締めくくりにあたって、今後、経営者協会やWUBネットワークなどと連携しながら沖縄の産業育成を推進していきたい、と両団体への協力を呼びかけた。なお、講演終了後は喜友名氏、多数の来賓を囲んでの和やかな懇談のなかで両会会員の交流を深めた。

〈4月〉

22日／新体制は大幅な変更はなく会員数71名中68%のご出席をもちまして長嶺為泰新会長、理事17名、監事1名、顧問3名



WUB東京  
フラッシュバック  
〈04年4月～10月〉

となりました。例会テーマは「沖縄県に於ける最近の産業振興並びにその課題」。WUB東京理事、関東沖縄経営者協会事務



が選出承認されました。WUB東京の新体制が整いWUB東京がセカンドステージを迎えたことになりす。「重田前会長ご苦労様！長嶺新会長、よろしくお願ひします！」



28日／長嶺新会長、新年度の第一回理事会。熱のこもった会議が沖縄ツーリスト会議室でスタートしました。



局長でもある金城氏は司会役で更にご活躍！WUB東京、関東沖縄経営者協会会員が交互のスピーチに聞き入る出席者の方々



〈5月〉

24日／前会長と事務局次長最後のツーショット。重田さん、真理ちゃん、大変お疲れ様でした。



〈6月〉

25日／主催：沖縄県私大就職指導協議会、共催：WUB東京が今年も国立オリンピック祈念青少年総合センターで開催されました。コーディネーターは又吉理事。パネラーには、将来のWUB東京会員候補や、WUB東京会合に出席実績ありの方々も。



〈7月〉

17日／7月例会は関東沖縄経営者協会と合同例会

〈8月〉

1日／コンファレンス出席のため上京したWUB創設者ロバート仲宗根ご夫妻を囲んで。現在ロバート仲宗根氏は琉球大学に留学中の学生さんです。



15～20日／ボリビア沖縄移民50周年と第8回WUB世界大会アルゼンチンへ。夕食会での各支部会長による「乾杯」。

〈9月〉

30日／昨年ホノルルで開かれた「第一回世界のウチナーンチュ会議」のコーディネーター久場氏（ハワイ支部メンバーの弁護士）は、今年「ハワイ桜の女王」のお嬢さんメレディスさんと共に来沖、歓迎会にご出席。その後上京し、東京メンバーと懇親された。



# WUB活動を通じての人的交流促進とビジネス創出の事例紹介

●はじめに: 「ビジネス」とは新聞紙面を飾る起業だけを意味しない。起業とは投資行為が先行し、儲ければ儲かったで利益配分という作業がある。誰に何を売なのかというビジネスモデルの検討が必要だ。メンバー同士の得意・不得意の見極め、時には“この人のためなら損をしてもいい”程の信頼関係が必要だ。拙速なビジネス立上はかえって人間関係に亀裂を生じかねない。ビジネス世界では常に短期売り抜けの“ヒット・アンド・ラン”メンバーが出て来る。私達はこうした事態を避けるため様々な交流を通し相互理解を築いて来た。これまでメンバー間で多くの地道なビジネス情報交換・交流が行われた。今後、「えーく」紙上で顧客・取引に支障ない限りでこれを公開していきたい。

## ●2001年「世界大会」推進メンバーによるコラボレーション

### 事例1: 「沖縄の食材・料理」出版企画

第5回世界大会後、推進スタッフのスキルと実践力を活かすイベントとして、沖縄をテーマとする書籍の出版を企画。原稿、写真、デザイン、編集、印刷、販売まで全プロセスをメンバーでカバーした。携わったメンバーは、三島、蠟山、屋良、平良、高宮城、高倉、小畑の各理事・監事、他会員有志による広範囲の「プロジェクト首里」を形成、手弁当による週1のミーティング。02年8月30日に東海大学校友会館にて出版記念パーティを開催。同年10月に行なわれたボリビア世界大会での販売も実施。当初沖縄教販による県内販売に限定したが、屋良理事の努力で03年1月には念願の全国規模の販売へと展開する。



## ●菅原副会長(菅原建築設計事務所)の事例

### 事例2: 沖縄・牧志マンション外観デザイン

2000年、WUB沖縄大会のビジネススピーチの後、当時WUB沖縄呉屋会長のご紹介で金秀建設(株)設計部から発注があった。



### 事例3: (株)日本アドバンストシステム リニューアルデザイン

WUB東京 重田前会長のNAS社オフィスリニューアルデザインコンペに参加。3社の中から受注。

### 事例4: 沖縄ツーリスト東京支店オフィス リニューアルデザイン

新橋駅隣接ビルへの移転の際、WUB東京 大城副会長のご紹介により、同社東京支店から受注。

### 事例5: 沖縄タイムス東京支社 オフィス リニューアルデザイン

支社開設40数年振りの全面改装案件をWUBメンバーから岸本前支社長をご紹介いただき受注。

### 事例6: 沖縄・小浜邸家具インテリアデザイン

新報コラム「南風」、「沖縄マインド」紙上掲載の縁と弊社HPルートから発注頂いた。



### 事例7: サザンパレス港川スカイデューオ 基本デザイン

01年初めWUB沖縄 呉屋前会長のご紹介で、金秀建設(株)設計部とスタートしたマンションプロジェクト。WUB世界大会東京2001でプレゼンス、05年1月に完成予定。



## ●重田顧問((株)日本アドバンストシステム)の事例

### 事例8: ITシステム開発受注

蠟山理事からの紹介で、重田顧問経営のNAS社が、在沖米国系企業から1000万円規模のITシステム開発の受注。

### 事例9: CGデータベース業務受注

琉舞の型を研究しているWUBメンバー波照間さんから、学会発表用にCGデータベースの構築を受注。学会発表論文にも当社担当の名前が発表され、ビジネス外の成果を得た。

### 事例10: セミナー・プレゼンテーションサポート業務の受注

音楽プロダクション並びに広告エージェンシー勤務のメンバーからセミナー・プレゼンテーション用のグラフィック資料作成とオペレーション業務を受注。

## ●蠟山理事((有)ビプロ)の事例:

### 事例11: 沖縄物販チラシの受注

第5回世界大会で、蠟山理事と屋良理事(光文堂印刷)が大会パンフレット共同製作の縁で、月例の「沖縄県産品物販チラシ」の商品撮影・デザインを受注、担当。



### 事例12: マンション見学ツアー リーフレットの受注

山城金秀グループ東京所長の引合いで、菅原副会長が基本設計した沖縄港川の金秀マンション『スカイデューオ』の首都圏販売を目指しWUB東京副会長の沖縄ツーリスト大城常務の協力を得て、マンション見学ツアーを企画、

ビプロがデザイン制作、印刷は光文堂印刷で行なう。

### 事例13: ライブバー オープンツール・看板の受注

新メンバーの天久さんが新橋に開店したライブバー「なにやってるBar」のロゴマーク・オープンツール(チラシやメニュー)・看板等のデザイン・制作。



### 事例14: NAS社 新入社員採用リーフレットの受注

重田顧問NAS社新入採用リーフレットの撮影・デザイン受注。印刷は光文堂印刷が担当した。

この他にもいくつかの事例がありますが、また次回に紹介して行きます。(記事担当: 重田 辰弥)

# 第8回WUB世界大会 アルゼンチン2004・特集

## ボリビア移住50周年式典とアルゼンチン大会の概要

小畑 耕行

8月13日(金)19時、成田空港を出発。ロサンゼルス、サンパウロを経由し、30時間かかって、現地時間8月14日(土)の正午に漸くサンタクルスに着く。先に現地入りしていた知花理事の迎えの車に乗ってホテルに向かう。夕方、市内を一回り見物してからグランデ川に向かい、川岸に沿って常設の屋台小屋が両側に立ち並ぶ凸凹道を抜け、川辺に出る。市民の憩いの場所らしく沢山の人が屋台に群がっている光景は、暮らしの匂いがして現地の生活を垣間見るようで、とても興味深い。

翌日はボリビア移住50周年記念式典の日。迎えのバスを待っている間、知花理事が持って来られた8月14日付けの有名全国紙「EL DEBER」に目を通すと、50周年記念式典関係の記事が12頁にも互って特集されており、移住地の長嶺会長のお兄さんや、前回のボリビア訪問の際にお世話になった津嘉山さん、第6回世界大会の司会をされた比嘉透さんの大きな写真が掲載されている。式典には大統領も出席されるなどボリビアにおけるコロニア・オキナワの評価とステータスは想像以上に高いことを目の当りにし、とても感慨深い思いを抱く。

最初に行なわれた慰霊塔の除幕式には稲嶺沖縄県知事も列席され、引き続き、メサ・ボリビア大統領の到着を待つ、入植50周年記念式典が格調高く厳粛に執り行われた。昼食会には大統領や知事も参加され、移住地の婦人会の手作り料理に舌鼓を打ち、楽しいひと時を過ごす。午後からは芸能の部が催され、大いに寛ぎながらの半日となる。

翌朝、アルゼンチンに移動すべく空港に行くと、沖縄で米軍ヘリの墜落事故が発生したため、稲嶺知事はアルゼンチン行きを中止して急遽帰国されるとのことで、知事の周りには慌しい動きがある。ブエノスアイレスへ向かう乗客が多いためか、予定の飛行機に乗り切れず、2時間近くも待たされ、6時間後に漸くブエノスアイレスに到着する。到着出口に向かう途中で特別室に案内され、スサーナ・比嘉会長の出迎えを受け、イミグレーションも特別扱いでWUB

アルゼンチンスタッフの一括処理によって、待ち行列に加わることなく入国する。歓迎の横断幕を背に記念撮影をした後、出迎えのバスでホテルに向かう。車中でWUB東京アテンド役のアルゼンチン支部スタッフの増田さんから、滞在中の注意事項として、パスポートと現金類はホテルの金庫にしまって、市内に出る時は必要最低限の現金しか持ち歩かないようにとの説明があり、思っていたより治安が悪いことを実感する。

翌8月17日、インターコンチネンタル・ホテルでアルゼンチン支部主管による第8回世界大会が挙行される。少年少女合唱隊の清らかな歌声によるオープニングが参加者の心を



爽やかにし、特にアルゼンチンの子供たちが唄う「島人ぬ宝」は感動的だった。開会宣言の後、比嘉WUBアルゼンチン会長、呉屋WUB-IT会長の挨拶に引き続き、来賓挨拶、記念品贈呈と、午前の部は円滑に終了する。バイキング形式の昼食会を挟んで、午後からはビジネス交流会が行なわれる。

夜は、同じホテルで歓迎パーティが催され、来賓の挨拶や各支部会長の記念撮影などに引き続き、朝の少年少女合唱隊とは趣を変えて、比嘉会長率いる女声合唱隊によるコーラスが皆を歓迎する。エイサーやアルゼンチンタンゴ演奏の後、次回大会の開催を主管することになったWUB関西への「權(えーく)」の引渡しが行なわれ、アルゼンチンタンゴを踊ったり、各支部ごとの記念撮影を行なったりした後、カチャーシーでお開きとなる。

元々の予定では、WUB関西の大会開催は2006年の筈であったが、この年はペルー入植100周年の記念式典が行なわれるため、WUBの世界大会もこれに合わせようということで、急遽、予定変更となり、大会当日のIT会議でWUB関西にお鉢が回ってくることになった。会議の席上で、WUB-IT、



情報は社会のエネルギー。伝えることで時代は進化する。



光文堂印刷株式会社 KOBUNDO PRINTING COMPANY

本社 / 〒901-1111 沖縄県南風原町字兼城577番地  
TEL.098-889-1131(営業本部) FAX.098-835-6111(G4)  
東京営業所 / 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-29 飯田橋NKビル7F  
TEL.03-3269-8133 FAX.03-3269-8330

vpro 広告・カタログ・パッケージ デザイン 有限会社 ビプロ  
VISUAL PROFESSIONALS PHONE.03-3546-9191 FAX.03-3546-9192

## 沖繩に逢える!! 沖繩が味わえる!! 株式会社おきなわ物産センター



営業時間  
AM10:00~  
PM 8:00  
年中無休  
(元旦休)

熟成手打ち風  
沖繩そば工場  
ヘルシー沖縄料理の店  
おきなわ亭  
045-506-4774

本社 〒230-0042 横浜市鶴見区仲通り3-74-14 鶴見沖縄県人会館1階  
TEL045-504-7816 FAX045-511-2351 ☎0120-097817  
http://www.okinawa-bussan.com E-mail:info@okinawa-bussan.com  
那覇営業所 〒900-0003 那覇市安謝2-3-2 TEL 098-941-0808 FAX 098-941-0820  
沖縄食材全般・健康補助食品(もろみ酢・うこん・シークワサーなど)・ホーク缶詰・その他850種以上の品揃えでお待ちしております。

沖縄、東京が全面的に協力するというので、仲里会長に無理やり引き受けていただいたという経緯がある。

翌日は大会プログラム2日目。アルゼンチン支部手配のバスでプラタ川の河畔に出て川幅の広さを見物した後、牧草地帯を走って観光牧場に向かう。昼食は豪快な焼き方をしたアサードを食べながらのアルゼンチンタンゴ・ショー

の見物で、最後には観客を巻き込んで、そこから中に踊りの輪ができる。夜は、在亜沖縄県人連合会主催による歓迎パーティが



県人会館で行なわれ、現地の県人会の人々とも交流する。

大会が終わった翌日は、オプションツアーでサンマルチン大聖堂やプラタ市の自然博物館の見学を行ない、夜はタンゴショーを見ながら食事のできるレストランに行き、アルゼンチン気分を満喫する。翌々日は、メトロポリターナ大聖堂やベロン大統領夫人のエヴィータの眠るレコレータ墓地に立ち寄ってから、タンゴ発祥地のカミニート地区を見物し、湖水地方まで足を伸ばす。

夜は知花理事がアルゼンチン滞在時代にお世話になった、元県人会連合会副会長の下条さんのお宅にお邪魔して手作り料理をいただく。下条さんは戦前オーストラリアで潜水夫をしていたそうで、今だに昔の日本人が持っていた気骨を失っていない矍鑠とした肝の据わった方で、5年前に自宅に強盗が押し入った時も、少しも慌てず堂々と対峙されたらしく、大いに感銘を受けた。

下条家に強盗が入ったり、市内では路地に連れ込まれ金品を強奪されたりと、とにかくブエノスアイレスは治安が悪い。アルゼンチンは、明治時代、日露戦争の折に自国のためにヨーロッパで建造中だった軍艦2隻を日本に譲ってくれたり、太平洋戦争直後、まっ先に食糧支援をしてくれたり、とても豊かな国だった筈だが、今は経済が破綻し、頻繁に強盗が出没するような国になってしまっている。

嘗て豊かだった国が何故このようになってしまったのか、状況をボリビアと比較すると答えが見えそうな気がする。ボリビアは、まだそう豊かではなく道路も舗装率が低く砂埃が舞うが、街に活気があって人々が生き生きしており、機会均等で誰にも成功のチャンスがあるので、努力して頑張ろうという風土がある。戦後の日本の復興期を髣髴とさせるエネルギーを持っている。日系人、いや、ウチナンチュの大統領が誕生する日も、そう遠くないかも知れない。

対して、アルゼンチンは、そこそこ豊かで道路も整備されているが、街に活気がなく一部の貴族と特権階級に富と権力が集中していて、人々の心の中に努力をしてもある程度以上にはなれないという諦めの気持ちがあるのではないかと、思えてならない。豊かな農業資源に恵まれ、自然に任せていても農業立国としての確固たる地位が保てたという点も、工業化への出遅れの要因になり、ブラジルとは異なる道を歩むことになったと考えられる。パリを思わせる街並みを持ち、ヨーロッパの雰囲気をも漂わせる素敵なブエノスアイレスを首都に持つアルゼンチンの今後の巻き返しに期待したい。

最後に、今回、急遽、来年4月に第10回世界大会を引き受けることになったWUB関西を、WUB東京として全力支援することを会員各位にお願いして結びとしたい。

## 第8回WUB世界大会 スケジュール

- 8月16日(金) 1. 米州沖縄県人会会長会議+WUB支部長での夕食会  
2. 東京メンバーは、最近注目のおしゃれなバイエリアで、世界最強のアルゼンチン直火ステーキの調査取組
- 8月17日(土) 会場：インターコンチネンタルホテル  
1. 開会式 (AM9:30~10:45)  
・開会宣言 WUBインターナショナル会長 Mr. Goya Yoshiaki  
・開会挨拶 WUBアルゼンチン会長 Ms. Higa Susana  
WUBインターナショナル会長 Mr. Goya Yoshiaki  
・祝辞 在亜 日本大使 Mr. Nagai Shinya 沖縄県 文化交流部 ヤカブ チョウイチ氏  
参議院議員 Mr. Nishime Junshiro (稲嶺知事代理) 在亜 沖縄県人会長 Mr. Yagi Sentaro  
OKITA財団 Dr. Alchouron Guillermo  
・Ms. Higa Susanaから各支部長へプレゼントの贈呈~Coffe Break  
2. Lunch (PM12:30~13:30) テーブル&buffetによる昼食会  
3. 交流会 (14:30~17:30)  
(1) ビジネス交流会(メイン会場にて、展示会も併設)  
・在亜JETROによるアルゼンチンビジネスの紹介  
・ビジネス交流会  
・展示内容：アルゼンチン・ペルー・ブラジル・沖縄・ハワイ  
(2) 県人会(メイン会場側の別会場A)  
(3) Youth & Identity(メイン会場側の別会場B)  
4. Dinner (19:30-23:00)  
・挨拶  
・合唱隊(ブエノスアイレスで合唱活動をされている方々?)  
・タンゴ演奏  
・知花エリさん WUB体験報告
- 8月18日(日) 1. Presidentes y Delegados/Visitas Protocolares  
2. Miembros/Visita a Kochi (施設見学)



## 「私とアルゼンチンの出逢い」

知花 弘和

今から丁度40年前の1964年10月、憧れていたアルゼンチンの地に足を踏み入れた時の感動が未だ脳裏に残っている。ボリビアに移住した私はコロニア沖縄10周年記念行事の終了を待って隣国アルゼンチン行きを決意した。あいにく頻発していたストライキで解決の目途が立たない車を待っては出発できない。聞けば先輩たち3名も一緒なので意を強くし国境までバスで行くことにした。サンタクルスから国境までの650キロの砂利道を砂塵を上げて走り続けた。未知の世界に向けて走破しているのだと思うと心は躍った。一泊して早朝、着替えだけの入った小さなカバンを手に国境を渡ったそのときの光景が忘れられない。一歩足を踏み入れたアルゼンチンはキラキラ輝き舗装道路と街路樹がなんともいえないハーモニーを奏で、建物もこれから乗り込む電車も、目に飛び込んでくる全てが別世界であった。国が違えばこんなにも違うものかと「国力の差」を実感した。当時の様子をボリビアに残っている友人家族に熱く手紙で書き送ったことを鮮明に覚えている。

大都市ブエノスアイレスのレティロ駅には翌早朝着。まだ薄暗い電車の中で4名は「ブエノスはネクタイを締めないと駄目らしい」と慣れない手つきで一騒動しながら身支度して待った。駅に着くと「タクシー」「タクシー」と声が飛んでくる。行く先を決めていた4名はメモしてきた住所を見せたら良く知っていると言う。それならと荷物を持って運転手の後に続いた。なんと「2頭引きの小奇麗な馬車」である。一瞬全員たじろいだ。ままと乗り込んだ。早朝のひんやりした心地よい風を受けながら途中「ブラサ デ マーヨ」大統領府前も突っ切って、着いた先は今日の「幸地製菓」を築き上げた幸地さん宅であった。真っ黒に日焼けした4名のハポネ

スが車中物珍しさにギョロギョロと四周を眺めていた様はご想像にお任せしよう。

それから3年間のアルゼンチン生活が始まった。故人となられた知念重雄会長の最盛期の頃にあたり「COA」アルゼンチン沖縄県人連合会の書記として従事させていただき会長始め多くの方にお世話になった。勤め先に近い同郷の比嘉憲英氏宅に下宿した。WUB世界大会の諸行事を見事に成功させた比嘉ササナ会長のご尊父である。故人となられた憲英氏は太った体を揺らしながらいつも笑顔でよく「チャーガライサ」と言っておられた。この言葉をササナさんが父の教訓として引用していた。家族同様生活してきた私にとっても感慨深いものがあった。

アルゼンチン訪問、最後の晩はCOA時代大変お世話になった下条善徳氏の自宅にご招待を



受けた。お嬢さんのカルメン洋子さんの和洋織り交ぜた手料理をテーブル一杯に並べていただき、東京組の長嶺会長を始め6名でお言葉に甘え遅くまで歓談した。80歳をとうに過ぎた現在もアルゼンチン社会で胡弓の教師として健在振りを発揮して居られる。何時も明朗闊達でお世話好きだった奥さんが数年前故人となられたことは大変寂しいことであったが益々のご健勝をお祈りし再会を約しお別れした。今回ボリビアの50周年とアルゼンチンのWUB世界大会にも参加できたことは二重の喜びであった。

私にとって二カ国とも第二の故郷である所以である。

## 「WUB会員になって初めての世界大会参加!!」

下里 英俊



以前から行きたかった南米、その中のアルゼンチン、ブエノスアイレスでの大会だ。その前にボリビアでの「沖縄移民50周年式典」参加の為、サンタクルスで4泊した。その間、移民一世達の大変な苦難を歴史資料展示館で見たり、直接聞いたりして胸のつまる思いをした。又、WUB会員所有の工場見学、知花理事の甥経営の広大な牧場見学、長嶺会長と一緒にチチカカ湖観光では生まれて初めての“高山病”も経験し、又“ホコリ高き国”でのいろいろな分野でのインフラの未整備はやはり経済発展の足を引っぱっているように感じた。アルゼンチンは豊かで素晴らしい自然条件、地理条件に恵まれ、ブエノスアイレス市内の街並みを見ただけでも良き政治の頃の豊かさの証を感じとる事が出来る。

高級ホテル・インターコンチネンタルでの「WUBアルゼンチン大会」、世界各国WUB支部の旗が会場周囲の壁いっぱいに掲げられ世界各地で活躍するウチナンチュ達の姿が見えるような気がした。これらの支部のある国々の8割には仕事や観光で行ったが、これからはWUB会員も訪ねて情報交換し、ビジネスにもつなげたらと思う。WUB創設者ロバー

ト仲宗根氏率いるハワイ支部メンバーの皆さんや、顔からエネルギーな会長のパワーにも感銘を受けました。大会は内容豊富なメニューで、分科会、いろいろなアトラクション等、ボリビアでもそうだが、特に肌色の違う子供達が沖縄の歌や踊りを一生懸命やっている姿はほほえましくも胸が熱くなるものを感じ、こうして沖縄の伝統芸能や文化を世界中へ広めて行く事もWUB活動の中で大事な一面だなと思った。目的の「会員相互のビジネス発展につなげる」という事では、ビジネスの種類にもよると思うが、さまざまなハードルがあるのは当然で、逆に言えばそれを乗り越えて活かそうというのがWUB活動だと思う。ブラジルの会員の方達の話には興味深いものを感じた。会員同士で、同業種間での共同仕入れ、新しく出店する時の協力体制等、次々と店舗を増やし各会員の業績を上げている。又、異業種間ではたえず情報交換の場を持ち、経営に活かしているとの事、やはり身近な会員同士のビジネス活動から世界中のWUB会員とのビジネス活動へとつながって行くのだと思った。

最後に2泊3日のブラジル一人旅、イグアスの滝等知花旅行社社長の計らいで楽しい観光。もっと観たい想いを抑えつつ、来年は大阪大会、再来年のペルー大会ではマカで元気をつけ、インカ文明の遺跡等の観光を楽しみにしつつ、帰途につく。

## 「古い縁に活力を与え、新たな出会いを創造」

平良 智広

南米！ボリビア大会の時に行きたかったのですが、なぜか南米ではなく、大阪に通うことになっていました。それから2年、やっと訪問実現です。

サンタクルスに着いてまず感じたのは街の勢いです。広大な平野と豊かな自然が素晴らしいですね。移民50周年の式典では、学生も多数参加し、コロニアあげての大イベントでした。ボリビア大統領も駆けつけると聞いた時は本当にビックリしました。ランチもご一緒に、一国の大統領が食事されるのを目の前で見るのは、なんとも現実感がなく不思議な経験です。地元のTV局が長嶺さんにインタビューしていましたが、やはり会長はオーラで分かるのでしょうか。それにしても南米の地元メディアと難なくコミュニケーションできるのは羨ましい限りです。

一転、プエノスアイレスは歴史のある街で、まさに南米のバリ。知花さんが青春を過ごされた場所とのことです。初日は素敵なコーディネーターにナビゲートされ、世界最強のステーキ、アサードを堪能しました。その趣のある街並み同様WUB世界大会もスサーナ会長の元、厳かに開催され

ました。昼食、分科会を経て、夜は歓迎パーティーです。アルゼンチンと言えば情熱のタンゴ！初めてですっかり舞い上がっていましたが最高に楽しかったです！

パーティーの中頃、ブラジルの知花エリさん（知花理事の姪御さんです）がWUBをきっかけにハワイにステイした体験を話されました。忘れてしまいがちな先輩達の想いに触れ、その大切さにあらためて気づいたと素直に語り、聞いた者の心を打ちました。このような出会いの機会を増やし、先輩から後輩へ沖縄の心を伝え、次の世代という器で新たな文化やビジネスの交流が増えていくことが大事だと思います。今回で大会は8回目です。移民式典のおかげもあると思うのですが、多数の人が参加しており、正直少し驚きました。多くの時間と費用をかけて参加するわけですから、1回参加するだけでも大変な事です。去年のハワイ大会といい、今年のアルゼンチン大会といい、大会を維持するどころか着実に勢いを増しています。WUB大会を軸に、古い縁に活力を与え、新たな出会いを創造し、その輪をますます広げていっています。

この大きな流れを実感したい方は・・・大阪大会とペルー大会があなたを待っています！



## ●アルゼンチン大会フラッシュバック●



●8/15 ボリビア・サンタクルス・コロニアOKINAWAで「沖縄移民50周年記念式典」に参加



●ボリビア駐日大使やサンタクルス州知事だけではなく、なんとカルロス・メサ大統領も参列し祝辞を述べられ、会場は大いに盛り上がりました。



●8/16 アルゼンチン・プエノスアイレス入り。空港には歓迎の横断幕



●8/17 プエノスアイレスのインターコンチネンタルホテルにて、第8回WUB世界大会Argentina 2004開会式。開会宣言のWUB国際長嶺会長

●WUBアルゼンチン会長 Ms Higa Susanaからプレゼントの贈呈を受けるWUB東京長嶺会長

●第8回WUB世界大会 Argentina 2004の夕食会



●ディナーのメインディッシュは世界最強と評判のアルゼンチンビーフ

●8/18 ラブラタ川から牧草地帯の観光牧場見学へ



●夜は在亜沖縄県人連合会主催の歓迎パーティ

●8/19 屋間市内観光のあとタンゴショーレストランで夕食



●ステージでは賑やかなタンゴショーが繰り広げられる

情報発信  
掲示板

●新入会員紹介 (2004年4月から11月末日現在)

- 長嶺 祐子 (ながみね ゆうこ) 2004年4月入会  
現在 (株) アステック勤務 / 首里高校・早稲田  
大学仏文卒・米国留学・在沖エグゼグティブ・  
リンク社で翻訳等のアシスタントとして沖縄  
サミット業務に従事 / nagamine@astec.co.jp
- 小濱 輪子 (こはま りんこ) 2004年4月入会  
現在 クェイト石油・日本支社長秘書 / 那覇  
高校卒・ハワイ留学・KDDに勤務 /  
rxr04515@nifty.com
- 天久 達子 (あめく たつこ) 2004年8月入会



1959年沖縄生まれ / 飲食業「J-天久」 / 港区  
新橋3-16-9 エムエービル2F Tel: 03-3437-  
6884 携帯: 090-4398-9014 e-mail: te\_ge-  
0817@docomo.ne.jp



- 知念ロベルト (Chinen Roberto) 2004年11月入会  
1980年ペルー (リマ市) 生れ (日系3世) /  
1993年来日 / 2002年神田外語大スペイン語  
学科卒 / 2002年4月東洋水産 (株) 就職 /  
2002年9月日本国籍取得



昭和27年沖縄県玉城生れ / 17歳でアルゼン  
チンへ移住、北米含め17年 / 海外生活の後、  
1988年横浜市鶴見区で比嘉電設工業 (有) 創  
設現在に至る。

Tel: 045-502-4085 携帯: 090-3337-7693 Fax: 045-502-4067

- 宮里 清 フスト (Miyasato Kiyoshi Justo) 2004  
年11月入会  
1962年ボリビア国サンタクル  
ス・コロニア沖繩にて出生 /  
1995年サンタクルスUPSA大学  
法学部卒 / 1997年弁護士資格取  
得 / 2001年来日



横浜市鶴見区 Tel: 045-503-0715 携帯: 090-6493-0424 e-  
mail: tigre657@helen.ocn.ne.jp

- 新垣 修 (あらかき おさむ) 2004年11月入会



有限会社 モンテヴェルデ / 南米物産輸  
入・販売 / 群馬県邑楽郡大泉町古海660-1  
Tel: 0276-62-9588 Fax: 0276-62-9590  
e-mail: arakaki @quitandinha.com http://  
quitandinha.com

■編集後記 WUB東京 副会長・事務局長 三島 康裕  
第4号はアルゼンチン世界大会の特集記事になった。参加  
者それぞれが多岐な角度から感想を述べられ大変興味深  
い。来年のWUB関西主催の世界大会を迎え、WUB東京の  
協力事業の一環として「ITによるTV会長役員会議」実施な  
どの提言も進めていきたい。将来益々広範囲な連帯と事業  
を模索するWUBにおいて、常にWUB東京がアドバンスし、  
リレーグロムとしての存在を持ち続けたいものである。  
又、多くの若い新入会員を迎え頼もしさや未来への力強い  
鼓動を感じている。今回も直接編集に携わった蠟山理事、  
重田顧問他、ご協力いただいたメンバー諸姉兄に感謝を述  
べたい。

デジタルソリューションのための  
ベストパートナー



私たちは、お客さまにとって  
最適な情報環境をご提供する  
情報戦略のプロフェッショナル企業です。

業務内容: 各種事務処理系アプリケーションの開発から、ハードウェアの選  
定・導入から運用。「WEB系ソフトウェア」「DBソフトウェア」「CGソフトウェア」  
など各種アプリケーションの開発。クライアント・サーバシステム (CSS) にか  
かわる各種ソフトの設計、開発、コンサルティングなどデジタルソリューション  
に関わる全ての業務を行っています。

インターネット グループウェア  
提供サービス  
Internet GroupWare  
らくらく手帳  
http://www.rakunote.com/

琉球王国の交易市場  
おぎんわいち  
Okinawa1.co.jp  
http://www.okinawa1.co.jp/

株式会社  
日本アドバンスシステム

http://www.nasbi.co.jp/

本社 東京都品川区西五反田2-12-3 第一誠美ビル TEL:03-5759-1781 FAX:03-5759-1627  
静岡事務所 名古屋事務所 大阪事務所 沖縄事務所



ねっ? 違うでしょ? これが沖縄の海。

創業40余年 迅速・確実なサービス



信頼のマーク 北海道から沖縄まで……全国34店のサービスネット

東京支店 銀座案内所  
TEL (03) 3509-6311 TEL (03) 3562-6455  
港区新橋1-13-12 (銀座わたしたショップ内)  
E-mail: tyo@otsinfo.co.jp